成果イメージ図

令和７年度　帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業　実施体制（小山市教育委員会）

課　題

★授業のユニバーサルデザイン化

★日本語指導と教科学習との関連を図った指導・支援

★増加する外国人児童生徒への対応

連　携

白鷗大学・宇都宮大学
HANDS

要検討課題

★指導員・支援員の増員

★やさしい日本語やＩＣＴの活用

★在籍校での初期指導（指導法の研修等）

小山市外国人児童生徒教育研究会

〇日本語と教科学習（JSL）との関連指導の洗い出し
〇市グループウェアを活用した文書・教材等の共有
〇広報誌「にほんごだより」の発行

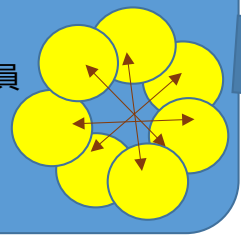
小山市外国人児童生徒適応指導教室「かけはし」

センター的機能
〇日本語の初期指導
〇学校および社会への適応指導

多言語対応可能な指導員の配置
スペイン語　ポルトガル語　中国語
タイ語　英語

拠点校＝日本語教室設置校

〇情報の共有
〇指導員・支援員の配置
〇日本語の中期指導



小山市教育委員会

こども教育課　こども政策課　学校支援課

市民生活部　国際政策課

「外国人児童生徒のだれもが平等に、質の高い教育を受けられるように環境を整備する」

通訳・翻訳の依頼

広報誌の発行
授業公開
指導用教材・方法等の提供

市内小・中・義務教育学校

非拠点校

外国籍児童生徒在籍校（少数）

外国籍児童生徒在籍校（多数）
〇指導員支援員の配置

外国籍児童生徒非在籍校

多国籍化　多文化化　居住地の散在化